

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)  
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので多数ご来聴下さい。

記

**演題：iPS細胞からの血液細胞誘導**

**“ユニバーサル血小板製剤”の開発戦略**

**講師：江藤 浩之 先生**

**京都大学 iPS 細胞研究所 CiRA 副所長・教授**

**日時：平成 28 年 9 月 9 日(金) 17 時 30 分～19 時 30 分**

**場所：M&D タワー21 階・大学院講義室 1**

**講義要旨：**

若年層献血者の減少や汚染された献血者ドナーに起因した感染を回避した安全な輸血製剤の供給を行う戦略として、iPS 細胞技術による赤血球、血小板製剤の開発が欧米諸国においても進められている。血小板は、機能保持目的に室温保存(22-24℃)が必須であるがため本邦での使用有効期限は4日と定められ、需要供給バランスを管理することは臨床上的大きな課題である。加えて、血小板輸血不応症状を呈する患者においては、Class I HLA が一致した血小板輸血が必須となり、ドナーの確保、負担増加は血小板輸血の最大のボトルネックとされる。そこで私たちは血小板供給の究極のアイデアである HLA 欠損ユニバーサル血小板の開発を目指している。

一方、(1) iPS 細胞の多様性をどのように克服するか？(2) 製造コストをどのように減少させていくか？(3) どのように臨床試験を進め、実際の上市戦略をどのように描くか？が今後は益々重要視されていくと思われる。講義では私たちの血小板製剤の開発戦略を紹介したい。

**【連絡先】幹細胞制御分野 田賀 哲也 (内線 5814)**